

平成24年度

# 北海道高等学校教育研究会 会 報

第 97 号

ご あ い さ つ

北海道高等学校教育研究会

会 長 守 屋 開

盛夏の候となりましたが、北海道高等学校教育研究会の会員の皆様におかれましては、ますますご健勝でご活躍のことと存じます。なお、今年度の夏は、電力が逼迫した中、各校におかれましても、節電の計画と実行をされておられることと存じます。

本研究会「高教研」は、北海道高等学校長協会のもとに組織され、昭和39年（1964年）2月に初めて開催され、今年度で節目の50周年を迎えることができました。この半世紀の間、諸先輩の並々ならぬご努力と取り組みによるところが大きいのではないかと感謝申し上げます。また、全体会では、日本の学問や芸術の代表として最先端を歩まれておられる多くの著名な方々にご講演をお願い申し上げ、毎年、貴重なご示唆を頂いているところです。

さて、本年度の事業計画と致しましては、50周年記念大会として、詳細がこの会報に掲載されておりますが、今年も教科部会と地区支部の運営に支えられて進められておりますことに感謝致します。「未来を担う人を育む北海道高等学校教育の創造」という研究主題で、平成25年1月9日(水)に一日目の全体集会が行われます。今年度の全体講演は、日本中を沸かせた小惑星探査機「はやぶさ」のプロジェクトマネージャーを務められた川口淳一郎先生をお招きして、記念講演として、ご講演をお願いしております。帰還までのご苦勞とその高い技術の成果について、お伺いできますことを今から楽しみにしております。会員皆様による多数のご参加を期待しております。

1月10日(木)は、研究大会の二日目として、各教科部会において、教科にまつわる最新の研究や情報が得られる講演ならびに、先生方の提言や研究発表の機会が設けられております。多くの先生方が、今後の研究や教育に新しい知見が得られますことを願っております。併せまして、会員の皆様におかれましては相互の活発な交流等により、北海道の高校教育を支える柱となって頂きたいと思っております。また、50周年「記念講演」と併せまして、同時期に5日間程度、「はやぶさ」「高教研」展を行い、高教研の歴史や役割等の展示広報を企画しております。これらの事業を記録した50周年記念誌の発行も予定しておりますので、ご期待願います。

北海道高等学校教育研究会が、会員相互の資質を高めあう研修の場として、今後とも盛大に行われることを信じ、明日の北海道の高校教育を豊かにする人と人を繋ぐ会であることを祈念し、あいさつと致します。

# 平成24年度 総 会 報 告

5月9日の午後1時30分より、ホテルライフォート札幌において、本年度の総会・第1回研究協議会が開かれました。

全道から地区支部長と各教科部会長が集まり、平成23年度事業の実施報告・平成24年度事業計画の審議、役員改選、研究協議が行なわれました。以下、その概要をお知らせします。

## (1) 平成23年度 事業実施報告

- ア 会報 第95号発行 (平成23年7月)
- イ 大会案内発行 (平成23年11月)
- ウ 大会要項発行 (平成24年1月上旬)
- エ 第49回北海道高等学校教育研究大会
  - ① 第1日目 全体集会 (平成24年1月11日) ニトリ文化ホール
  - ② 第2日目 教科別集会 (平成24年1月12日) 各会場
- オ 研究紀要 第49号発行 (平成24年3月15日)
- カ 会報 第96号発行 (平成24年3月15日)

## (2) 平成24年度 事業計画

ア 第50回北海道高等学校教育研究大会

### ① 全体集会

期 日 平成25年1月9日(水)

会 場 ニトリ文化ホール(旧厚生年金会館)

研究主題 未来を担う人を育む北海道高等学校教育の創造

日 程

9:00	10:30	12:00	13:00	13:40	15:40
本部事務局打ち合わせ	会場設営・準備	受 付	開会式	講 演	

運 営 大会役員

講 演

講 師 独立行政法人宇宙航空研究開発機構 シニアフェロー  
宇宙科学研究所 宇宙飛行工学研究系 教授  
川口 淳一郎 氏

演 題 『「はやぶさ」が挑んだ人類初の往復の宇宙旅行、その7年間の歩み』

司 会 者 日高支部 北海道平取高等学校 教頭 前川 幸啓

## ■全体講演 講師

独立行政法人宇宙航空研究開発機構 シニアフェロー

宇宙科学研究所 宇宙飛行工学研究系 教授 川口 淳一郎 氏 プロフィール



宇宙工学者、工学博士。1978年 京都大学工学部卒業後、東京大学大学院工学系研究科航空学専攻博士課程を修了し、旧文部省宇宙科学研究所に助手として着任、2000年に教授に就任。2007年4月から2011年9月まで、月惑星探査プログラムグループプログラムディレクタ(JSPEC/JAXA)、1996年から2011年9月まで、「はやぶさ」プロジェクトマネージャを務める。現在、独立行政法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所(ISAS/JAXA)宇宙飛行工学研究系教授、2011年8月より、シニアフェローを務める。ハレー彗星探査機「さきがけ」、工学実験衛星「ひてん」、火星探査機「のぞみ」などのミッションに携わり、小惑星探査機「はやぶさ」では、プロジェクトマネージャを務めている。

② 教科別集会

期 日 平成25年1月10日(木)  
 会 場 教科部会ごとに決定  
 テーマ 教科部会ごとに決定  
 日 程

	9:00	12:00	13:00	15:00	15:30
受付	講演または研究協議	昼食(休憩)	講演または研究協議	部会・総会	

※部会により時程は多少異なります。

講 師 各教科部会で決定(委嘱状・依頼状については、教科部会事務局で発送)

平成24年度 北海道高等学校教育研究会 教科別テーマ・会場

部 会	会 場	研 究 テーマ
国 語	札幌コンベンションセンター	言語活動の充実 組織的な授業改善に向けて
地歴・公民	北海道札幌平岡高等学校	課題意識を持ち、主体的に学び考える力を育む学習指導の工夫・改善
数 学	札幌エルプラザ または、ちえりあ	数学的な見方や考え方を活用し、確かな学力の確立を目指す数学教育
理 科	市立札幌大通高等学校	科学的な自然観を育成する理科教育の実践 ①自然の事物・現象に対する関心や探究心を高める授業の開発 ②目的意識を踏まえた観察・実験の開発
保健・体育	北海道江別高等学校	遅い生徒を育てる授業を求めて
養 護	札幌市教育文化会館 305研修室	現代的な健康課題の解決と学校保健活動の推進をめざして
芸 術	北海道札幌白陵高等学校	豊かな感性を拓く芸術教育
英 語	札幌大学	21世紀に生きる地球市民を育む英語教育 ～新しい流れに対応する授業をめざして～
家 庭	札幌エルプラザまたは 札幌市民会館、かでの27	生涯を見通して生活を創造する力を育む家庭科教育
農 業	北農健保会館	北海道の未来を拓く農業教育の創造 ー環境保全型農業の推進と地域資源の活用ー ～専門高校PowerUpプロジェクトの実践内容等の成果を共有し指導の改善を図る(物作り商品開発・先端技術・環境保全関係の取り組み)～
工 業	札幌全日空ホテル	新しい時代を切り開く工業教育の創造と実践
商 業	北海道大学学術交流会館小講堂	創造性豊かな人材育成のためのビジネス教育
水 産	北海道小樽水産高等学校	変化の激しい時代をきり拓く水産・海洋教育はいかにあるべきか
情 報	北海道札幌北高等学校	求められている授業の構想、デザイン 授業づくりの方法論に向かって

◎参加料 会員 2,000円 非会員 3,500円

高等学校教員は全体集会のみ、教科集会のみ参加でも参加料は同じです。

また、当日参加も参加料は同じです。

一般 1,000円(全体集会のみ) 1,500円(教科別集会のみ)

イ 研究紀要 第50号発行

発行 平成25年3月

ウ 会 報 第97号、第98号 発行

① 第97号 発行：平成24年7月

② 第98号 発行：平成25年3月

内 容：第50回研究大会報告及び第50回記念大会の概要について

研究紀要執筆者募集要項

教科での研究紀要は各教科部会へ、教育一般は各地区支部へ申し出て下さい。たくさんのご応募をお待ちしています。なお執筆者は本研究会の会員に限ります。

① 原稿募集の種類

(ア) 教科は、1教科につき 25,000字以内(14件まで)〔横書き 横25文字 2段組 1段48行〕  
(原稿の集約・審査は各教科部会長の担当です)

(イ) 教育一般は、1編につき 25,000字以内(14件まで)〔横書き 横25文字 2段組 1段48行〕  
(原稿の集約・審査は地区支部長の担当です)

② 日 程

執筆申込締切日 教科部会・地区支部まで 8月24日(金)

執筆者本部決定 9月7日(金) 原稿提出締切 10月26日(金)

# 平成24年度 北海道高等学校教育研究会 50周年記念事業の概要について(お知らせ)

## 1 基本方針

- (1) 魅力ある、より充実した研究会を目指す。
- (2) 教科部会の予算を増額して、裁量を広げる。積立金の半分程度を各教科部会へ。
- (3) 今後のあるべき姿を模索する。



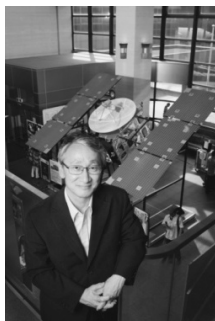
## 2 記念事業の概要

### (1) 教科研究事業への増額補助

各教科18万円の増額補助を行う。教科研究事業費に上乘せして配当する予定。増額分の活用方法は、各教科部会の裁量に委ねる。

例) 講師謝礼に不足額を充当。地方会員の司会委嘱に伴う経費。会場費の補てん。会報の発行。  
なお、通常の事業は例年通り実施するので、その分の予算も配当される。

### (2) 「記念講演」及び「はやぶさ」・「高教研」展



地下歩行空間、「憩いの空間」を5日間(1月6日(日)～10日(木)予定)借用して、記念講演に合わせた「はやぶさ」展(本体模型・帰還カプセルレプリカ・小惑星イトカワ模型等の展示)を開催するとともに、「高教研」展(パネル展示等)も同時に行い、50年にわたる高教研の教育研究活動を広く道民に広報する。

### (3) 記念講演の「地方配信実験」

記念大会の全体講演を、当日参加できない会員がリアルタイムで視聴できるように、配信実験を行う。現在、委託業者といくつかの技術的な問題点等について協議・調整を重ねている。

### (4) HPの全面改定

学校HPから切り離し、レンタルサーバーを借用し、CMSを基本としたHPを構築する。

現在、株式会社ラプトと本契約を結び、HPの構成やトップページのデザインなど打ち合わせを重ねており、10月末の公開を目指して工程表作りも終えている。

地区支部、教科部会からも専用ページを自由に更新できるようにする。また、公開ページと会員専用ページとを切り分けて、セキュリティ面も強化する。

なお、過去の資料は、順に電子データ化して掲載し、会員が自由に閲覧できるようにする。

### (5) 50周年記念誌 原稿集約 1次 11月5日(月) 2次 2月1日(金)

40周年記念誌に準じて、年度内(研究大会後)に作成する。

この10年間の会員数の推移等の基礎資料は本部事務局で用意する。地区支部・教科部会では、「今後の展望」について十分な検討を行い、それを記念誌に掲載する。

なお、原稿の1次集約は途中経過報告程度とし、今年度の研究大会を終えて2次集約し、全体の構成を整えて最終調整を行う。なお、紙面に余裕があれば地区支部・教科部会の活動を記録した写真等も掲載する。

記念誌は各学校に1～2冊配布し、会員はHP上で閲覧できるようにする。

### (6) 「功労表彰」

この10年間の大会役員、地区支部長、教科部会長及び事務担当者を紙面上で表彰する。

## 3 その他

- (1) 各事業の進捗状況等については、メール・HP等で連絡・公開する予定。
- (2) 祝賀会等の開催は予定していない。



## 全体講演の歩み ～第22回大会以降～

回	開催 年度	講師氏名	演題
22	昭59	黒羽 亮一（日本経済新聞社論説委員） 岡田 宏明（北海道大学文学部教授）	なぜ今教育改革か 北方民族における伝統と近代
23	昭60	加藤 秀俊（放送大学教授） 石黒 直文（北海道拓殖銀行常務取締役）	生涯教育の将来 これからの企業の求める人間像
24	昭61	江藤 淳（東京工業大学教授） 岡村 正吉（北海道虻田町町長）	ことばとところ 地方自治と教育
25	昭62	野坂 昭如（作家） 小松 作蔵（札幌医科大学副学長）	近ごろ思うこと 心臓移植をめぐる
26	昭63	多胡 輝（千葉大学教授） 美濃 羊輔（帯広畜産大学教授）	日本人と創造性 バイオテクノロジーの現状と問題点
27	平元	金田一春彦（文学博士） 高橋 良治（釧路市丹頂鶴自然公園園長）	日本人の心 タンチョウの四季
28	平2	菊地 元市（青山学院大学法学部長） 高畑 直彦（札幌医科大学神経精神科教授）	経済法秩序における公正としての正義 —日米構造協議を中心に— 心の危機と反応
29	平3	なだいなだ（精神科医 作家） 坂本 与市（北海道文理科短期大学学長）	心の底をのぞく オスとメスのエソロジー
30	平4	伊東 光晴（放送大学教授 京都大学名誉教授） 古葉 竹識（野球評論家）	技術革新の現在と社会の変容 耐えて勝つ
31	平5	C. W. ニコル（作家） 若井 邦夫（北海道大学教育学部教授）	自然と人間 子どもが発達するとき —必要とあそびのあいだ—
32	平6	中村雄二郎（明治大学法学部教授） 杉岡 昭子（札幌国際プラザ専務理事）	共通感覚と自己表現 「故郷忘れがたく候」の旅
33	平7	河合 雅雄（京都大学名誉教授/日本福祉大学教授） 山中 燁子（北海学園大学人文学部教授）	人間 —進化の道からずれた動物 世界の中の日本と日本人
34	平8	佐原 真（国立歴史民俗博物館副館長） 横湯 園子（北海道大学教育学部教授）	大むかしと現代 子どもを観る目 —教育臨床心理の立場から—
35	平9	浅井 信雄（神戸市外国語大学教授） 中野 武房（北海学園北見大学教授）	国際化と私たちの暮らし カウンセリングを体験してみませんか
36	平10	梶田 叡一（ノートルダム女子大学学長） シンポジウム	変革期の高校教育を考える 「今こどもの心は」 —問題行動の背景を探る—
37	平11	養老 孟司（北里大学教授）	からだと脳
38	平12	河合 隼雄（京都大学名誉教授）	青春の夢
39	平13	阿部 謹也（共立女子大学学長）	日本社会の構造と教育
40	平14	五木 寛之（作家）	日本人のこころ
41	平15	毛利 衛（宇宙飛行士/日本科学未来館館長）	宇宙の視点からの教育
42	平16	寺島 実郎（三井物産戦略研究所所長 /日本総合研究所所長）	世界潮流と日本および北海道の進路
43	平17	吉村 作治（早稲田大学国際教養学部教授）	夢の実現の仕方
44	平18	桜井 進（河合塾、早稲田塾、数学講師 /sakurAi Science Factory主催）	サウンド オブ サイエンス ジョン・ネイピア ～対数誕生生物語～
45	平19	金子 勝（慶應義塾大学経済学部教授）	ニュースの嘘と教育
46	平20	阿刀田 高（作家） 阿刀田慶子（朗読家）	アイデアの発見
47	平21	福岡 伸一（青山学院大学理工学部化学・生命科学科教授）	科学のおもしろさをどう伝えるか
48	平22	見田 宗介（東京大学名誉教授）	現代社会はどこに向かうか
49	平23	内田 樹（神戸女学院大学名誉教授）	転換期の教育—グローバルズムに抗して

平成24年度 北海道高等学校教育研究会 役員・地区支部長・教科部会長・本部事務局

〔役員〕

会 長	守 屋 開	(札幌旭丘)				
副 会 長	廣 瀬 覚	(札幌琴似工)				
	西 岡 憲 廣	(札幌山の手)				
	丸 木 克 朗	(札幌北)				
	小 原 伸 彦	(札幌西)				
監 事	岩 本 隆	(札幌開成)				
	相 澤 英 樹	(札幌東商業)				
顧 問	尾 崎 信 夫	小 柳 六 郎	染 谷 昌 志	綾 井 健 二		
	武 田 泰 明	田 村 勸	島 隆	青 塚 健 一		
	金 間 正 克	宮 浦 俊 明				

〔地区支部長〕

〔石 狩〕	竹 内 敏 治	(札幌拓北)
〔渡 島〕	小 林 雄 司	(函館中部)
〔檜 山〕	湯 田 恭 丈	(江 差)
〔後 志〕	板 東 眞 一	(二 七 二)
〔空 知〕	阿 部 広 美	(南 幌)
〔上 川〕	石 原 卓 典	(旭 川 南)
〔留 萌〕	猪 股 康 行	(留 萌 千 望)
〔宗 谷〕	政 野 仁	(枝 幸)
〔網 走〕	後 藤 哲	(遠 軽)
〔釧 路〕	山 形 恒 則	(釧 路 江 南)
〔根 室〕	丸 山 年 民	(羅 白)
〔十 勝〕	菅 野 誠	(帯 広 緑 陽)
〔胆 振〕	小 松 芳 幸	(穂 別)
〔日 高〕	杉 本 祐 子	(平 取)

〔教科部会長〕

〔国 語〕	大 鐘 秀 峰	(札幌真栄)
〔地歴・公民〕	荘 司 信 一	(札幌平岡)
〔数 学〕	佐々木 高 至	(札幌平岸)
〔理 科〕	佐々木 淳 一	(札幌西陵)
〔保健体育〕	加 藤 和 美	(江 別)
〔養 護〕	黒 田 信 彦	(札幌北)
〔芸 術〕	石 塚 耕 一	(釧 路 明 輝)
〔英 語〕	釣 晴 彦	(千 歳)
〔家 庭〕	成 田 雅 昭	(札幌東陵)
〔農 業〕	北 澤 住 人	(岩見沢農業)
〔工 業〕	廣 瀬 覚	(札幌琴似工業)
〔商 業〕	滝 本 茂	(札幌啓北商業)
〔水 産〕	村 松 裕 史	(小樽水産)
〔情 報〕	宮 嶋 衛 次	(弟子屈)

〔事務局〕北海道札幌旭丘高等学校

事務局長 梅 原 宏 之  
 事務局次長 尾 崎 寿 春 上 家 浩 幸 横 関 直 幸 春 木 孝 之  
 事務担当者 密 山 潤 子

平成24年度 地区支部、教科部会事務局

〔地区支部〕

地区支部	事務局校	事務担当者	〒	住所	Tel	Fax
石 狩	札幌拓北	浅野 敏	002-8074	札幌市北区あいの里4条7丁目1番1号	011-778-9131	011-778-9132
渡 島	函館中部	谷川 敬一	040-0012	函館市時任町11番3	0138-52-0303	0138-52-0305
檜 山	江 差	渡邊 周一	043-0022	檜山郡江差町伏木戸町460-1	0139-53-6224	0139-53-6225
後 志	二 七 二	大坂 道明	048-1501	虻田郡二七二町字富士見141番地9	0136-44-2224	0136-43-2031
空 知	南 幌	吉澤 恒男	069-0238	空知郡南幌町元町3丁目2番1号	011-378-2248	011-378-2629
上 川	旭 川 南	沼田 靖生	078-8803	旭川市緑が丘東3条3丁目1-1	0166-65-8770	0166-65-8772
留 萌	留 萌 千 望	太田 倫夫	077-0024	留萌市千鳥町4丁目91番地	0164-42-2474	0164-42-1417
宗 谷	枝 幸	藤井 浩之	098-5822	枝幸郡枝幸町北幸町529番地2	0163-62-1169	0163-62-3490
網 走	遠 軽	岩田 一郎	099-0414	紋別郡遠軽町南町1丁目	0158-42-2676	0158-42-2676
釧 路	釧 路 江 南	吉田 光利	085-0051	釧路市光陽町24番17号	0154-22-2760	0154-22-2760
根 室	羅 白	小川 政博	086-1834	目梨郡羅白町礼文町9番地3	0153-87-2481	0153-87-3359
十 勝	帯 広 緑 陽	菅原 和良	080-0861	帯広市南の森東3丁目1番1号	0155-48-6605	0155-48-6603
胆 振	穂 別	小形 和律	054-0211	勇払郡むかわ町穂別127番地3	0145-45-2176	0145-45-2176
日 高	平 取	前川 幸啓	055-0107	沙流郡平取町本町109-2	01457-2-2709	01457-2-2849

〔教科部会事務局〕

教科部会	事務局校	事務担当者	〒	住所	Tel	Fax
国語	札幌新川	遠藤 彰	001-0925	札幌市北区新川5条14丁目1番1号	011-761-6111	011-761-7911
地歴・公民	札幌平岡	林 正憲	004-0874	札幌市清田区平岡4条6丁目13番1号	011-882-8122	011-882-8142
数学	札幌平岸	角 智幸	062-0935	札幌市豊平区平岸5条18丁目	011-812-2010	011-812-2049
理科	札幌篠路	佐藤 大樹	002-8053	札幌市北区篠路町篠路372番67	011-771-2004	011-771-2013
保健体育	江別	窪田 徳明	067-8564	江別市上江別444番地1	011-382-2173	011-382-2770
養護	札幌北	関 澄恵	001-0025	札幌市北区北25条西11丁目	011-736-3191	011-736-3193
芸術	札幌白陵	大野 太郎	003-0876	札幌市白石区東米里2062番地10	011-871-5500	011-871-5522
英語	千歳	名平 裕	066-8501	千歳市北栄1丁目4-1	0123-23-9145	0123-23-2742
家庭	札幌東陵	佐藤 弘子	007-8585	札幌市東区東苗穂10条1丁目2番21号	011-791-5055	011-791-5095
農業	岩見沢農業	野村 博之	068-0818	岩見沢市並木町1番地5	0126-22-0130	0126-22-5362
工業	札幌琴似工業	塚本 慶一	063-0833	札幌市西区発寒13条11丁目3-1	011-661-3251	011-661-3252
商業	札幌啓北商業	鈴木 恵一	005-0841	札幌市南区石山1条2丁目15-1	011-591-2021	011-591-2023
水産	小樽水産	梅崎 真大	047-0001	小樽市若竹町9-1	0134-23-0670	0134-23-4553
情報	札幌平岸	杉本 式史	062-0935	札幌市豊平区平岸5条18丁目1-2	011-812-2010	011-812-2049

〔部会長校〕 国語(札幌真栄) 理科(札幌西陵) 芸術(釧路明輝) 情報(弟子屈)

平成24年度 会員登録状況

・追加登録は6月15日(金)～10月19日(金)です。

(平成24年6月28日現在)

	国語	地歴公民	数学	理科	保健体育	養護	芸術	英語	家庭	農業	工業	商業	水産	情報	合計	前年合計
石狩	115	140	130	128	109	36	49	144	43	2	23	54	1	36	1,010	1,111
渡島	20	16	15	11	18	3	7	15	5	5	7	9	39	1	171	181
桧山	3	7	4	6	2	0	1	8	0	1	0	1	0	0	33	35
後志	11	9	8	10	14	0	4	10	7	11	2	6	34	5	131	159
空知	16	18	23	18	17	3	6	23	5	21	6	18	0	3	177	172
上川	16	18	16	27	8	4	6	16	3	21	7	23	0	1	166	189
留萌	4	5	6	4	3	1	1	6	0	6	3	3	0	1	43	51
宗谷	8	9	8	11	6	4	1	6	3	0	1	4	0	0	61	52
網走	15	17	14	17	16	3	7	26	6	4	8	13	0	0	146	167
釧路	11	6	17	15	14	0	7	22	0	6	4	3	10	7	122	107
根室	6	4	9	2	6	1	3	5	1	10	0	1	0	0	48	51
十勝	10	14	11	13	7	1	8	17	2	25	5	3	0	2	118	119
胆振	22	17	12	18	17	4	2	24	5	0	8	13	0	0	142	133
日高	7	11	8	3	4	2	5	9	1	7	0	3	0	1	61	65
合計	264	291	281	283	241	62	107	331	81	119	74	154	84	57	今年度	2,429
前年合計	252	322	281	306	267	75	111	385	91	119	75	156	85	67	前年度	2,592

◎会員数の推移

年度	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23
会員数	4,338	4,064	4,167	3,849	3,686	3,595	3,521	3,466	3,362	3,232	3,142	3,063	3,049	2,785	2,721	2,592

## 事務局から

5月の総会以来、時間を見つけては、50周年記念事業の一つである記念誌発行に向けて資料の整理をしています。ある程度まとまったところで、HP上に公開しようと考えてはいますが、つい時間を忘れて資料に読み耽り、はっとして我に返り、慌てて仕事を再開する…そんな日々が続いています。現在会員数は3000人を切っていますが、ピーク時はその倍の6000人を超えていました。返す返す高教研の歴史に押しつぶされそうになります。

ここ数年の全体講演を振り返ると、第47回大会、福岡先生が「生命の本質」に迫るお話をして下さいました。第48回大会、難解ではありましたが、見田先生が「我々が生きるこの現代社会」を紐解いて下さいました。そして第49回大会、内田先生が「この転換期に、あるべき教育の姿」について語って下さいました。

今回の記念講演は、早い段階からJAXAの川口先生と決めていました。哲学があって棘がない、堅い意志があって人情がある、情熱と決断力と聡明感、どれをとっても素晴らしい方です。その思いが伝わったのか、早々に快諾を頂き、その上演題には、事前打ち合わせ無しで、「7年間の歩み」という時を刻む文言まで織り込んで下さいました。

はやぶさには、7年の歳月をかけて帰還する故郷、地球がありました。歓喜の声を上げて、感動とともに迎えてくれる大人も子供たちもいました。

今から50年前に高教研を設立し、熱く未来を語ったそのときの思いとともに、いまなお、我々は教育という旅を続けています。この旅はいったいどこに向かっているのでしょうか。この果てのない問いに新たなスポットを当て、誰もの記憶に残る記念大会としたいと思います。

発行 平成24年7月

北海道高等学校教育研究会本部事務局

〒064-8535 札幌市中央区旭ヶ丘6丁目5番18号

北海道札幌旭丘高等学校内

TEL 011-513-2238

FAX 011-513-2244